

在日大韓基督教会
宣教80年을 향한 標語

1. 새 세대에 교회를 형성하자
2. 재일동포의 새로운 삶을 지향하자
3. 세계역사속에서 우리의 사명을 다하자



THE GOSPEL NEWS

9月15日(日) <1985年> 第423号

発行所 福音新聞社

160 東京都新宿区西早稲田2-3-18

電話 03(202)5398番

発行人 洪永其・編集人 金君植

毎月1回 15日発行 購読料 1部 50円

昭和38年9月20日第3種郵便物認可

印刷所・青丘文化社

婦人会 アリラン・コーラス

カナダ教会と讃美の交流



カナダ長老教会でのコーラスの奉仕を終え、帰途ニューヨークで指紋押捺制度の撤廃を訴えるアリランコーラスの会員たち

去る一九八五年四月三日、在日韓国基督教全国婦人連合会

に於て結成されたアリランコーラスは、カナダ長老教会へ

ニューヨーク国連本部に
指紋撤廃を訴えるデモも

宣教師訪問の目的で大阪空港を出発し、約二日間の旅行を終えて帰国しました。同教会は一八七五年創立され、一〇〇年の歴史を有すると同時に、私たちが在日大韓基督教教会とは六十年来に及ぶ長い友好関係を持っています。さらに、カナダ長老教会は、多くの宣教師を日本に派遣していることは衆知のところでありま

す。今回の訪問は、ウェイクトリアから始まり、モントリオールまでの約三十箇所の教会に及び、各地で在日韓国基督教者としての証し、対話、聖歌の紹介、そして民泊を通してカナダ教会との交流を深めました。さらに各教会においては、在日の困難な状況下における宣教師の難しさ、具体的には行政差別・指紋押捺強制といった問題を訴え、聴衆

が涙することもたびたびありました。また、韓国人が日本に約七〇万人も在留している事実や第二次大戦時の長崎・広島への原爆投下によって被害を受けた韓国人が多く存在し、現在なお二万人にわたる被爆韓国人が韓国本国に存在している事実、カナダ諸教会の人々は大きな驚きを示しました。また、カナダ長老教会のみならず、各地の小中学校、養老院をも訪問し広く親善交流を図りました。今回の訪問にあたっては、各地の教会、又カナダ在留の韓国人クリスチャンから厚い接待を受け、状況は違っても同じキリスト者としての心の通いあう父母兄弟であることを実感する思いでした。

今回の訪問の目的はカナダ宣教師と同時に、ニューヨーク国連本部における指紋押捺制度撤廃のためのアピール活動でありました。五月十七日に一行はニューヨークに到着し、在米韓人牧師の多くの方々の歓迎を受け、翌十八日・十九日の夜は超教派的な特別合同集会も果たされました。そして十九日の日曜日には十組のメンバーに分れて在ニューヨーク韓国教会の主日礼拝に参加すると共に、在日韓国人に対する社会差別抑圧状況を訴え説明しました。それに対し、アメリカのマスコミでも大きく指紋問題はアピールされておられ、在米韓国人は同問題について大きな関心を持っており、指紋制度撤廃に向けて署名運動を積極的に展開していました。

二十日はアリランコーラス団員はシマ・テグリのユニホームを着、在米韓人教会の牧師・信徒約六十人がニューヨークの国連ビル前で約一時間三〇分「指紋押捺を撤廃せよ」「在日韓国人の権利を守れ」「指紋押捺拒否者の再入国を認めよ」等のプラカードを手にもち、道行く人々にアピールした。国連ビル前からニューヨーク日本領事館までデモ行進した。領事館前で讃美歌五二二番「어느날 너를 만나서」를 부르며、있나니의讃美歌を歌いながら感動を覚える熱いものがこみあげてきました。

最後にこの度の宣教師旅行は、訪問メンバー一人一人の様々な犠牲の中で、祈りをもって達成されたと同時に、各教会で思いがけない多額の献金、そして滞在費、必要経費の助成をいただいたことを記しておきます。

記

(1) 第三十八回定期総会

時日 一九八五年十月二十二日(火)

午後三時～二十四日(木)午後一時

場所 福岡教会

福岡市博多区千代五十五二二
電話〇九二(六五一)九七八六

(2) 協力 奉 献 事項

① 一九八五年度 各教会 宣教員

担金 納入하여 주실것.

② 特別指定献金 未納分을 보내 주실것.

③ 各教会 地方会 献議案을 九月二十日까지 보내 주실것.

④ 各機関 一年活動報告를 提出하여 주실것 (마감八月二十日)

一九八五年八月十五日

在日大韓基督教会總會

總會長 洪 永 其



東京・山手教会で開かれた関東大震災朝鮮人虐殺9・1集会

関東大震災・朝鮮人虐殺
九・一集会 東京山手教会で

関東大震災・朝鮮人虐殺六十周年と在日韓国・朝鮮人の人

権獲得闘争十周年の記念集会が九月一日、東京・渋谷の日本基督教団山手教会で開かれた。

集会は、金石範氏(作家)と姜徳相氏(大学講師)の講演、指紋押捺を拒否した十六才の金仁美さん、姜賢浩君、金磨利さんの証言、八月二十三日、指紋裁判で一万円の罰金の判決を受けた崔善愛さんと崔昌華牧師の報告があった。

金石範氏は、日本政府の朝鮮人に対する管理体制は、戦前も今も変わらず、朝鮮人を虐殺した六十年前とも変わらないうえに、指紋押捺を拒否することになったのは、新しい世代に継承されたからである。三世の世代になった在日朝鮮人はどうなるかと心配したが、指紋押捺制度の撤廃を求める運動の中で、しっかりした世代であることに感激していることも強調した。関東大震災について講演した

全国高校生夏期学校

琵琶湖・魚定楼で開催



琵琶湖で開かれた全国高校生夏期学校

金桂英牧師は主講演を通して、同胞の苦しみと共に負い、なおかつ希望の主なるキリストに従って力強く歩もうと高校生に呼びかけた。アメリカから一時、日本に來ていた申錫錫牧師(前下関教会)はアメリカにおける高校生の生活を紹介しながら、特に在米韓国人高校生の生活を紹介し、在日韓国人高校生としての生き方に豊かな示唆を与えた。聖書研究は崔正剛牧師が担当

し、旧約聖書のミカ書をテキストに在日の状況をミカ書から光をあてる聖書研究はとても有意義であった。

高校生も積極的にプログラムに参加、十六才になって外国人登録証の新規登録の際、指紋押捺を拒否した四人の発題は、同年代の高校生に考えさせられるものを与えた。

全体的に参加者は少数ではあったが、楽しく、意義ある夏期学校であった。

〒862 熊本市水前寺六丁目七-17
電話 0963-81-9051 番

